

第2学年 国語科 学習指導案

平成 29年 6月28日 (水) 第5校時
高知市立愛宕中学校 2年 3組 生徒数 38名
指導者 菊池 園

1 単元構想図

「生物が記録する科学」 バイオロギングの可能性

【単元でつきたい力】

- ・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめる。
- ・文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えを持つ。

◆学習の流れ

第1次 1時

- ・既習の内容を思い出す。
- ・「生物が記録する」とはどのようなことか内容を予想する。
- ・ばらばらにした文章を通読し、接続詞やキーワード、図表や写真をもとに、再構成する。

第1次 2時

- ・文章を序論・本論・結論の3つのまとまりにわけると。
- ・序論の部分をもとめ、「バイオロギング」とは何かを自分の言葉でまとめる。

第2次 1時

- ・本論を二つの内容に分け、事実と考えの示し方に着目して本論1をまとめる。

第2次 2時 (本時)

- ・事実と考えの示し方に着目して、本論2をまとめる、筆者の説明のしかたの特徴や工夫を捉える。

第3次 1時

- ・「バイオロギング」の可能性について考え、物の見方や考え方を広げる。
- ・「学習を振り返る」の二つの課題に取り組み、ワークシートにまとめる。

◆意識の流れ

【生徒の実態】

文章の「事実」と「意見」の区別ができず、自分の考えを根拠を明確にして文章にしたり、発表したりできない生徒が多い。

ばらばらでわかりにくい文章だなあ。接続詞や、キーワードを見つけて段落を並び替えよう。

問題提起と観察結果、考察を結びつけるといいだけでは、図表や写真を手助けにしよう。

問題提起・調査方法・結果・考察などを表に整理するとわかりやすい。

1年で学習した説明文と違うなあ。いろいろな工夫の仕方があるのだなあ。

筆者はバイオロギングから私たち人間の思考の範囲が広がる可能性や人間の探求心について僕たちに伝えたいのだなあ。

(1) 単元観

生徒が日々の生活で読む様々な文章には、説明や記録の文章が多く存在する。また、学校生活や社会生活の中で、自分たちが調べたり体験したりしたことを正確に、わかりやすく人に伝えなければならない場も多く存在する。

本教材は、文章の構成や展開の仕方、事実と意見の示し方に注意することで、説明の特徴や工夫に気付き、書き手の意図や主張を理解することを目的としている。序論では、生徒の興味・関心を引き付けるであろうペンギンを話題とし、「バイオロギング」について説明するという流れで話題を提示し、本論では、事実とそれに基づく考えの組み合わせを積み重ねて説明を展開している。事実の説明においては、図や写真が効果的に提示され、内容の理解を助けている。第1学年での既習事項を踏まえ、文章の構成を捉え、説明の工夫を考えるのに適した教材であると考ええる。

(2) 生徒観

本学級は、全体的に落ち着いて学習に取り組むことができるが、発言が一部の生徒に偏っており、学力に関して二極化が見られる。また、言語事項の苦手意識が強く、接続詞の役割や、文節と文節の関係などが正確に読み取れない生徒も少なからずいる。そのため1年時には「事実」と「意見」「考察」を読み分けるのに大変苦勞をした。4月に行った標準学力調査でも「文章の構成や展開をとらえることができる。」「文章の構成や展開を正確にとらえ、それを整理してまとめることができる。」「文章の展開に即して要旨をとらえることができる」など、説明文の読み取りの正答率が低い。また、「書く」ことにも抵抗感があり、「文章内容を正確にとらえ、伝えたい事柄を明確にして書くことができる。」「伝えたい事実や事柄を明確に伝えるための書き方の特徴を理解することができる。」などは目標値・全国の正答率から5ポイント以上低い。

(3) 指導観

本単元では、説明文の読み取りの中から「説明のしかた（構成）の特徴に気付く」ことに着目し、学習指導要領「C 読むこと」の「イ 文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。」「ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること」を重点目標として、各段落が文章全体の中で果たす役割についてとらえ、叙述の順序が書き手の論にどのような説得力をもたらしているかなどを考えさせたい。単元を通して「読むこと」の基本に返って既習事項を確認しながら学習活動を進めていくことで、苦手意識を少なくし、主体的に国語の学習に向かわせたいと考える。また、筆者は、単にペンギンの生態を伝えたいのではなく、バイオロギングから私たち人間の思考の範囲が広がる可能性や人間の探求心について伝えたいのだという思いをとらえさせ、生徒のものの見方や考え方を広げたい。



3 単元の目標

- ・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめる。
- ・文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えを持つ。

国語への関心・意欲・態度	読み能力	言語についての知識・理解・技能
○文章を読み、筆者の説明の方の特徴に気付くことで内容を理解しようとしている。	○文章全体と部分との関係、例示や描写の効果などを考え、内容の理解に役立てている。【C(1)イ】 ○文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめている。【C(1)ウ】	○文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えている。【伝国イ(ウ)】

5 指導と評価の計画 (全5時間)

時	学習内容 (時数)	評 価				
		関	読	言	評価規準	評価方法
1	・既習の内容を思い出す。 ・「生物が記録する」とはどのようなことか内容を予想する。 ・ばらばらにした文章を通読し、接続詞やキーワード、図表や写真をもとに、再構成する。	○		○	・文章の中の接続詞を抜き出すことができる。 ・文末表現に着目し、「問い」の文を見つけることができる。 ・接続詞やキーワード、図表や写真を手掛かりに構成を考えている。	発表 観察 ワークシート
2	・文章を序論・本論・結論の3つのまとまりに分ける。 ・序論の部分をまとめ、「バイオロギング」とは何かを自分の言葉でまとめる。		○	○	・本文の段落を序論・本論・結論の3部構成のまとまりで把握している。 ・「バイオロギング」について自分の言葉でまとめることができる。	発表 観察 ワークシート
3	・本論を二つの内容に分け、事実と考えの示し方に着目して本論1をまとめる。		◎		・文章全体と部分との関係、例示や描写の効果などを考え、内容の理解に役立てている。	観察 ワークシート
4 本 時	・事実と考えの示し方に着目して、本論2をまとめ、筆者の説明のしかたの特徴や工夫を捉える。		◎	○	・文章全体と部分との関係、例示や描写の効果などを考え、内容の理解に役立てている。 ・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめている。	発表 観察 ワークシート
5	・「バイオロギング」の可能性について考え、物の見方や考え方を広げる。 ・「学習を振り返る」の二つの課題に取り組み、ワークシートにまとめる。	○	○		・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめている。	発表 観察 ワークシート